

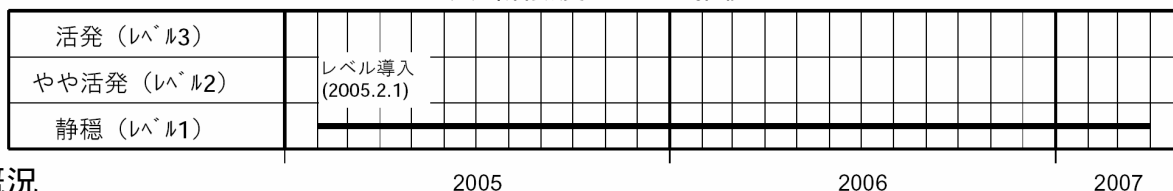
九重山

- 火山活動評価：静穏な状況（レベル１）

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

2005 年 2 月 1 日の導入以降、レベル 1 が継続しています。

火山活動度レベルの推移



- ## ○ 概況

- ・噴煙活動（図2）

噴煙は白色・少量、噴煙高度の最高は500mで、特に変化はありませんでした。

- ・地震、微動活動（図2、図3）

火山性地震の発生回数は1日あたり0～1回と少なく、静穏に経過しました。震源は、山体のごく浅いところに分布し、これまでと変化はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

- ・地殻変動（図4）

GPS 連続観測では、長者原―牧ノ戸峠の基線長は長期的に縮みの傾向が見えますが、他の基線長にはほとんど変化はありませんでした。火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

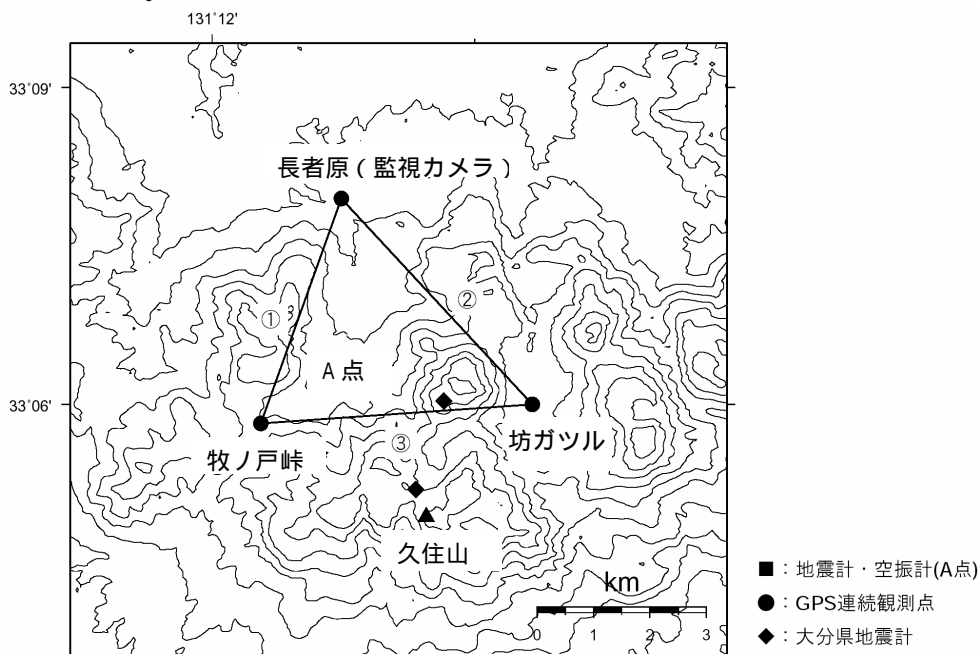


図1 九重山 観測点配置図

この資料作成に当たっては、気象庁のデータその他、大分県、防災科学技術研究所のデータ等を使用しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

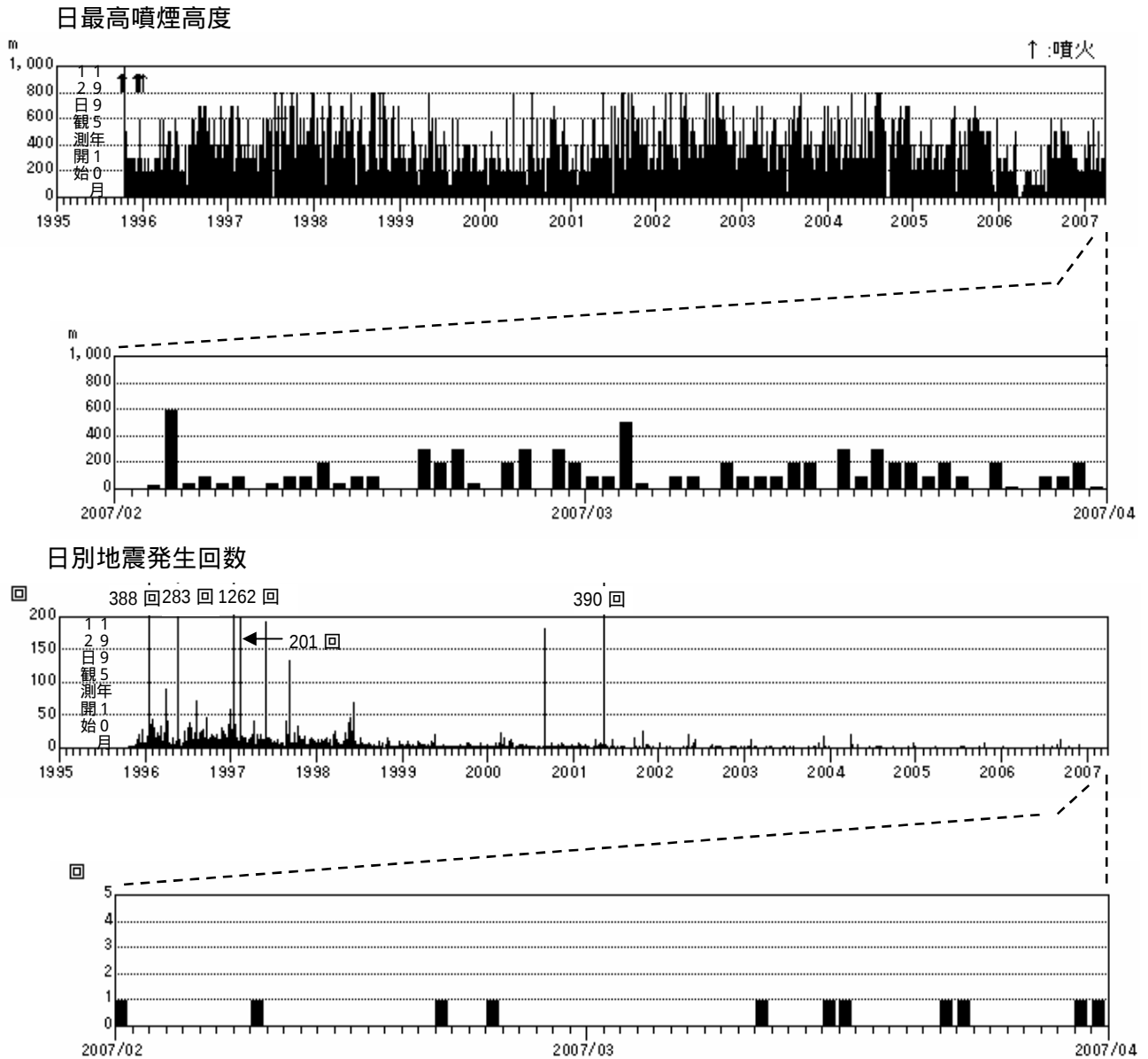


図 2 九重山 火山活動経過図(1995 年 10 月 12 日～2007 年 3 月 31 日)

- ・2007 年 3 月は、噴煙は白色・少量、噴煙高度の最高は 500m で、特に変化は認められませんでした。
- ・2007 年 3 月は、火山性地震の発生回数は 1 日あたり 0 ～ 1 回と少ない状態で経過しました。
- ・2007 年 3 月は、火山性微動の発生はありませんでした。

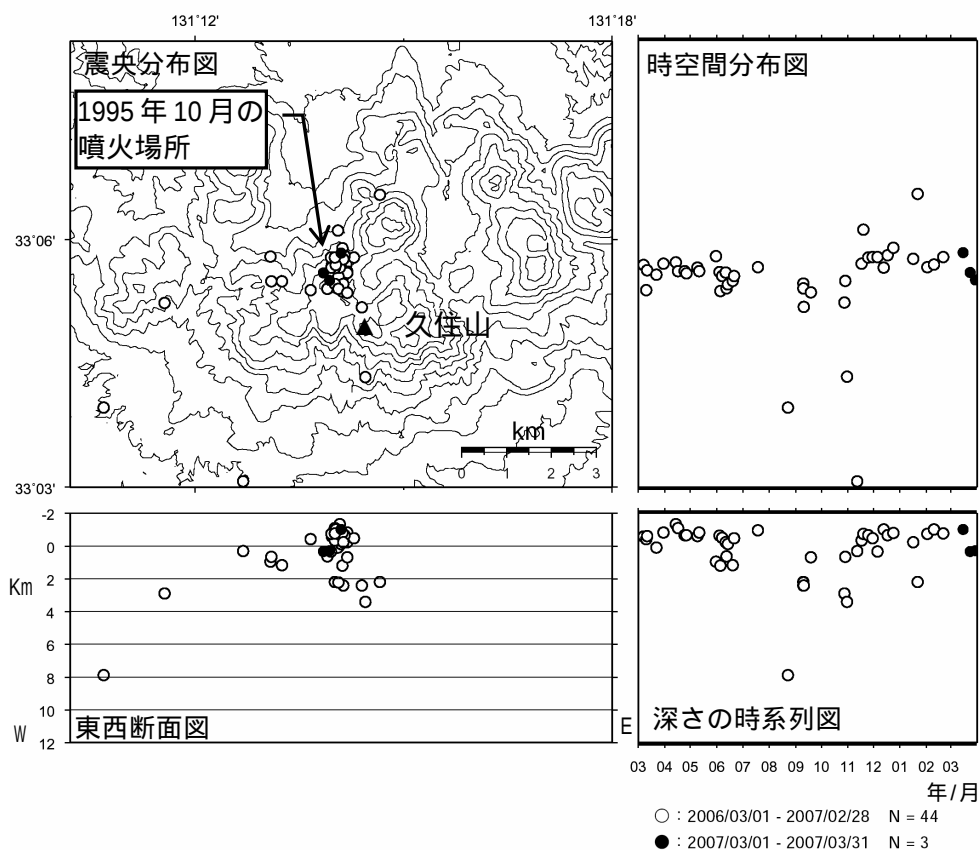


図3 九重山 震源分布図(2006年3月1日～2007年3月31日)

2007年3月は、震源が求まった地震は3個で、山体付近のごく浅い所に分布し、これまでと変化はありませんでした。

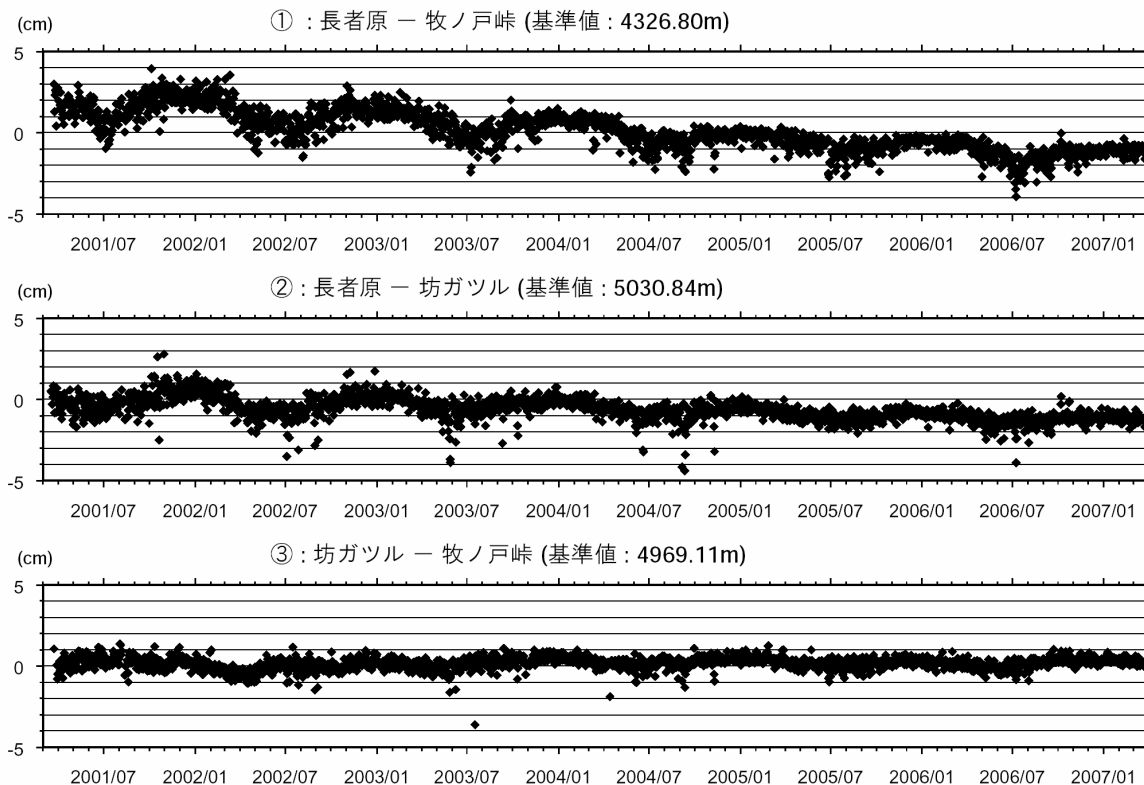


図4 九重山 GPS 連続観測による基線長変化(2001年3月1日～2007年3月31日)

GPSによる連続観測では、長者原—牧ノ戸峠の基線長は長期的に縮みの傾向が見えますが、他の基線長にはほとんど変化はありませんでした。